

平成 25 年度抛出委託単価について

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会  
評議員会 資料  
平成 25 年 12 月 18 日

● 「抛出委託単価」算出の計算式

$$\text{抛出委託単価} = \frac{(\text{①想定額} - \text{②「現に要した費用」の見込金額}) \times 1/2}{\text{④特定事業者からの再商品化委託申込量の総量}} \times 1.08$$

<平成 25 年度抛出委託単価の算出根拠>

		①想定額※ (円)	②「現に要した 費用」の見込額 (円)	③ = (① - ②) × 1/2 合理化抛出金 の見込額 (円)	④再商品化 委託申込 見込量 (トン)	平成 25 年度 抛出委託 単価 (円/トン)
ガラスびん	無色	420,805,955	479,605,714	0	141,693	0
	茶色	454,733,768	503,676,000	0	110,888	0
	その他	712,994,307	671,122,667	20,935,820	103,668	300
PET ボトル		419,272,381	406,527,567	6,372,407	281,340	100
紙製容器包装		48,032,197	33,100,000	7,466,098	39,100	300
プラスチック製容器包装		38,200,347,567	33,814,828,000	2,192,760,000	860,000	2,800

注 1) 市町村への合理化抛出金は、想定額よりも「現に要した費用」が下回ってはじめて抛出されます。

注 2) 計算の結果、③ = (① - ②) × 1/2 がマイナスあるいは 0 (ゼロ) となる場合、抛出委託単価は 0 (ゼロ) となり、合理化抛出金は生じません。

注 3) 合理化抛出金の見込額、再商品化委託申込見込量、抛出委託単価は端数調整しています。

※平成 25 年度想定額の求め方 (「想定単価」 × 「想定量」)

素材別/再商品化手法別		想定単価 (円/トン)	想定量 (トン)	想定額 (円)
ガラス びん	無色	3,812	110,389.810	420,805,955
	茶色	4,264	106,644.880	454,733,768
	その他	6,331	112,619.540	712,994,307
PET ボトル		2,083	201,282.948	419,272,381
紙製容器包装		1,852	25,935.312	48,032,197
プラスチック製 容器包装	材料リサイクル(トレイ)	23,858	645.974	38,200,347,567
	材料リサイクル(トレイ以外)	70,510	355,198.870	
	油化	68,935	0	
	高炉還元剤化	40,632	38,028.240	
	コークス炉原料化	43,188	189,358.770	
	合成ガス化	40,172	85,051.120	

注 1) 想定量は特定事業者負担分のみ。 注 2) 想定単価、想定額は消費税を含まず。

(参考) 平成 24 年度 抛出委託単価について

<平成 24 年度 抛出委託単価の算出根拠>

平成24年度分		①	②	③ (①-②) × 1/2	④	③ ÷ ④
		想定額※ (円)	「現に要した費用」 の見込金額 (円)	合理化抛出金 の見込金額 注1) (円)	再商品化 委託申込 量の総量 (トン)	平成 24 年度 抛出委託単価 (円/トン)
ガラスびん	無色	411,160,947	432,590,857	0	145,618	0
	茶色	442,880,360	427,064,000	7,908,180	114,999	100
	その他色	685,219,324	649,859,714	17,679,805	104,229	200
PET ボトル		412,011,986	255,822,136	78,094,925	288,450	300
紙製容器包装		50,295,406	23,100,000	13,597,703	41,600	400
プラスチック製 容器包装		37,559,159,000	34,831,470,000	1,363,844,000	934,000	1,600

注1) 計算の結果、(①-②) × 1/2がマイナスあるいは0 (ゼロ) となる場合は、合理化抛出金は0 (ゼロ) となります。

注2) 合理化抛出金の見込金額、再商品化委託申込量の総量、抛出委託単価は端数調整しています。